

ひまわり吹奏楽団だより

No.8

ひまわりのように
夢に向かって
まっすぐに



仙台市立向陽台小学校
ひまわり吹奏楽団
令和5年7月13日

コンクール地区大会・審査員の先生方からの講評

○安東 京平先生（ユーフォニアム奏者）

とても集中力の高い素晴らしい演奏でした！1人1人自分のパートをとてもしっかりと演奏できており、安心して演奏を聴くことができました。まわりの人がどういう音を出しているか、音楽の中での役割をもう少し理解してお互いを聴ける様になると更にまとまった良い演奏になると思います。特に大きい音を出す時によーく周りを聴いてみましょう！！ブラボー！！

○寺田 由美先生（マリimba・打楽器奏者）

アンサンブル力の高い皆さんの演奏、まだまだ伸びしろは感じられますが、基礎力の高さは大変素晴らしいです。吹けていない部分があっても、タテライン、ハーモニーを作ろうとする気持ちがあふれていました。イントロ木管のフレーズ、音楽性、繊細なフレーズの処理は感動しました。また、シーンごとのイメージを表現しようという気持ちも good です。

《Perc advice》

◎音量コントロール良かったです。

◎Timpさん 手首をウデからなめらかに下げて、マレットをバウンドさせるようにロールを叩くともっと響くと思います。

◎C. Cymbさん 音量、効果的でした。 ◎Glockさん もう少し柄の方を持つとよいかな。

○中條 淳也先生（北海道函館地区吹奏楽連盟副理事長／前 北斗市立上磯中学校吹奏楽部顧問）

とてもあたたかい感動的な演奏でした。Flute, とてもきれいな音ですね。迫力のあるサウンド、指揮のエネルギーに奏者が一生懸命ついていって、一体感を感じます。歌うところ、もう少しフレーズを長めにしたいと思います。

○芳賀 史徳先生（読売日本交響楽団 クラリネット奏者）

表現する意欲がとても伝わる演奏でした。特に弱音での雰囲気はよく出ていたと思います。f や ff の部分はもっと全体の音色が一緒になると良いです。木管（特にクラリネット）は低音になるにつれて聴こえにくくなるので弱くしすぎないように注意してください。

○山川 永太郎先生（新日本フィルハーモニー交響楽団 首席トランペット奏者）

朝イチ大変だったと思いますが、良い音でさわやかに始めて下さりありがとうございます。Trp がとてもパワフルでおどろきました。細かい音符は、長い音符よりもしっかりと息を入れましょう。全体を通してピッチが低いため、明るいハーモニーも暗くなってしまいます。吹奏楽器を上手にコントロールするのはむずかしいですが、こまめにロングトーンやスケールなどでピッチを確認しながら練習してみてください。一体感のある演奏で、サウンドも素晴らしかったです。ブラボー！！

審査員の先生方から、県大会の演奏につながるアドバイスをたくさんいただきました。県大会に向けて、先生方からいただいたアドバイスを生かして練習に取り組み、心のこもったひまわり吹奏楽団の「輝きの海」を作りあげていきます！